

【海外情報】

欧州における次期フレームワークプログラム「FP9」の名称、基本構造および予算額の提案

【概要】

- Horizon 2020 の後継となるフレームワークプログラムの名称は「FP9」と仮称で呼ばれてきたが、「Horizon Europe」という新名称が明らかになった。「Horizon Europe」の基本構造は3本柱となり、第一の柱はオープンサイエンス、第二の柱はグローバルチャレンジ・産業競争力、第三の柱はオープンイノベーションとなることが示された。
- 2021年～2027年の7年を対象とする「Horizon Europe」の総額（欧州原子力共同体（Euratom）研究訓練プログラム分 24 億ユーロを含む）は 1,000 億ユーロになることが示された。これは現行の Horizon 2020 と比べると約 30%の増額である。
- 上記の名称、基本構造および予算額は欧州委員会による提案であり、今後欧州理事会および欧州議会に提出され、同提案内容について審議が重ねられることになる。最終決定には欧州理事会と欧州議会の両機関の承認が必要となり、2019年末までに確定する見込みである。

【詳細】

1. 欧州委員会による EU 予算案の発表

5月2日、欧州委員会により2021年～2027年の7年を対象とするEU予算案が発表された¹。同提案では現行に比してEU予算の増額が示された（現行の2014年～2020年の7年間予算1兆872億ユーロから1兆2,794億ユーロへの増額）。英国のEU離脱による予算減を見越して、EU加盟各国への拠出金増額を求める予算編成となっている。増額の重点ポイントとして、①エラスムス・プラス（学生等の交換留学支援）、②研究・イノベーション、③防衛の3点が挙げられた。

研究・イノベーションの中核は Horizon 2020 の後継となる次期フレームワークプログラムである。これまで「FP9」と仮称で呼ばれてきたが、同提案では「Horizon Europe」という新しい名称が示され、2021年～2027年の7年を対象とした「Horizon Europe」の予算総額（欧州原子力共同体（Euratom）研究訓練プログラム分 24 億ユーロを含む）を 1,000 億ユーロと設定している。現行の Horizon2020 は7年間で総額 748 億ユーロのプログラムで、このまま確定すれば約 30%の増額となる。

「Horizon Europe」の基本構造は Horizon 2020 と同様に3本柱が想定され、第一の柱はオープンサイエンス、第二の柱はグローバルチャレンジ・産業競争力、第三の柱はオープンイノベーションとなることが示された。

2. 研究・イノベーション予算増額の背景

本日の発表に先だち、欧州委員会はEU予算の増額の必要性を指摘しており、特に研究・イノベーション予算は少なくとも1,200億ユーロに増やすべきという立場を表明していた。また、現行の Horizon 2020 の中間評価においても、その成果および研究・イノベーションに対する支援の重要性が報告されており、予算の増額が期待されていた。

3. 提案内容を踏まえた今後の流れ

本予算案では、農業予算と結束予算（遅れた地域を支援する資金）を削減し、その上、EU加盟各国

¹ EUは政策に長期的計画性を持たせるため多年次財政枠組（Multiannual Financial Framework: MFF）と呼ばれる仕組みを取っており、最低5年間に亘って毎年の予算の上限額を設定している。今回、欧州委員会が発表したのは2021年～2027年を対象とした次期MFF案である。

への拠出金の増額を求めているため、加盟各国政府の多くは反発している模様。今後欧州理事会および欧州議会に提出された同提案内容が、審議の過程で修正される可能性もある。

現時点での予測では、EUの全体予算の最終決定は2019年末までになされ、恐らく「Horizon Europe」の最終案の確定と同時に決定されるだろうと言われている。

今回の予算案を受け、より詳細な「Horizon Europe」の提言案が5月29日にモエダス研究・科学・イノベーション担当欧州委員により発表される見込みである。

(了)